

福島第一原子力発電所の状況

平成25年11月14日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/14 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約1.9 m ³ /h	25.1	106.8 kPa abs	A系： 0.01 vol%
		給水系：約2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約3.4 m ³ /h	34.8	7.26 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約3.4 m ³ /h	34.3	0.22 kPa g	A系： 0.12 vol%
		給水系：約2.0 m ³ /h			B系： 0.09 vol%

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

・H25/11/14 7:51 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ(11/14 7:50 時点):気温 5.8、湿度 83.7%)
プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/14 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	16.0
2号機	循環冷却システム	運転中	12.9
3号機	循環冷却システム	運転中	12.0
4号機	循環冷却システム	運転中	20

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	11/12 10:15～ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	11/6 9:27～ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (11/14 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	A系 ホット試験中

*フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

【多核種除去設備(ALPS) ホット試験の状況】

A系…11/8 14:01 C系で発生した「工程異常」の警報発生による停止の再発防止対策の水平展開として、制御系の改造を行うため、11/6 8:40 に停止したが改造が完了したことから、運転(ホット試験)を再開。

B系…8/8 12:25～ 腐食防止対策を実施するため、停止中。11月中旬を目処にホット試験を再開予定。

< 5. その他 >

- ・H25/10/21 13:50～ 6号機において、燃料集合体を原子炉内から使用済燃料プールへ移動させる作業を実施中。
- ・H25/10/29～ 2, 3号機海水配管トレンチ内の滞留水の放射能濃度を低減するモバイル式処理設備については、処理装置の設置が完了したことから、11/3 から実施している吸着塔の通水確認を含めた使用前検査を受検中。その後、11/11、原子力規制庁からのモバイル式処理設備使用の承認(タービン建屋等へ移送する配管などを除く)が得られた。
- H25/11/14 10:53～ 2号機について、モバイル式処理設備の本格処理運転を開始。
- H25/11/15～ 3号機について、モバイル式処理設備の本格処理運転を開始する予定。
- ・H25/11/12～13 3号機原子炉建屋上部において、ダストサンプリングを実施。
- ・H25/11/13～ 1号機トラス室において水上ポートによる調査を開始。
- H25/11/13 1号機原子炉格納容器ベント管(原子炉格納容器とサプレッションチェンバ(S/C)をつなぐ配管)の下部周辺調査を実施。調査したベント管4本のうち(全部で8本)、1本のベント管(S/C側)の上部方向より水の漏えいを確認。また、別のベント管のサンドクッションドレン管が破損しており、その部分からも水の漏えいを確認。

[H4エリアタンク・B南エリアからの水の漏えい関連]

< 最新のパトロール実績(11/13) >

- ・11/13の汚染水タンクパトロール結果については以下の通り。
 - ・高線量当量率箇所(+ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
 - ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
 - ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
 - ・サーモグラフィーによる水位確認については、11/12の雨の影響により撮影できなかったことから実施していない。
- ・11/10のパトロールにおいて、H5-D-No.4タンク*1壁面(タンク鋼板の第1段目と第2段目のフランジ部)に水滴跡が発見されたことから、当該箇所の70 μ m線量当量率(+ 線)測定を行ったところ、高い線量当量率が確認された。タンク目視点検の結果においては、当該箇所に漏えいは確認されておらず、サーモグラフィーによる水位確認結果(11/9撮影分の分析結果)においても、当該タンク水位低下は確認されていない。
 - < 高線量当量率箇所(+ 線(70 μ m線量当量率)) >
 - ・H5-D-No.4タンク(南東側)
 - 70 μ m線量当量率(ベータ線)(5cm距離*2) 29.8mSv/h
 - 1cm線量当量率(ガンマ線)(5cm距離*2) 0.2mSv/h
 - *1:9/1にお知らせしたH5エリア グループ 5タンクと同一タンク。(タンク管理番号の変更による)
 - *2:高線量率箇所から5cm離れた位置

当該タンクエリア堰内水のサンプリング結果は以下のとおり。

- ・11/10 採取分
 - セシウム 134:検出限界値未満(検出限界値は 12Bq/L)(お知らせ済み)
 - セシウム 137:検出限界値未満(検出限界値は 17Bq/L)(お知らせ済み)
 - 全ベータ:2300Bq/L
 - ストロンチウム 90:310Bq/L(簡易測定法により計測)(お知らせ済み)
- ・11/11 採取分
 - セシウム 134:検出限界値未満(検出限界値は 12Bq/L)(お知らせ済み)
 - セシウム 137:検出限界値未満(検出限界値は 17Bq/L)(お知らせ済み)
 - 全ベータ:2300Bq/L
 - ストロンチウム 90:400Bq/L(簡易測定法により計測)(お知らせ済み)
- ・11/12 採取分
 - セシウム 134:検出限界値未満(検出限界値は 12Bq/L)(お知らせ済み)
 - セシウム 137:検出限界値未満(検出限界値は 18Bq/L)(お知らせ済み)
 - 全ベータ:2100Bq/L
 - ストロンチウム 90:300Bq/L(簡易測定法により計測)(お知らせ済み)

これらの測定結果より、値に有意な変化がないことや定例で実施しているタンクパトロールでも異常がないことから、当該タンクからの漏えいはないものと考えている。

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

・11/12 採取分のH4エリア周辺の地下観測孔の分析結果(E - 1 ~ E - 5)について、11/2より大きな変動ではないものの、E - 1地点の全 濃度については、緩やかな上昇傾向が続いていたが、11/12 の測定結果は61万 Bq/Lと前回値(65万 Bq/L)と同程度となっている。その他の分析結果については、前回と比較して有意な変動はない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

・11/13 採取分については、前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

< 地下水バイパス揚水井のサンプリング実績 >

・11/12 採取分については、前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

< トピックス >

・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は
11/14 0:00 時点で約 5,610m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

・前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

< トピックス >

・H25/7/1 ~ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。(有意な変動なし)

・H25/10/3 ~ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。

・H25/10/23 ~ 地下貯水槽 No.6 において浮き上がり対策を実施中。

以上